

山行報告書

作成:2007年8月8日

愛知岳連 岡崎山岳会

山名[山域]	乗鞍岳	目的[方法]	高所サイクリングを楽しむ
期間	2007年8月4日(土) - 5日(日)	形態	夜行日帰り
参加人数	4人		

行動記録:

8/4(土) 曇り時々雨

岩津市民C (1805) == 豊田東IC(1815) == 美濃 IC(1910) == 北のショッピングセンター(食料買出し)(1912, 1930) == 美濃IC(1933) == 飛騨清見IC(2030) == 道の駅ななもり清見(2037)

8/5(日) 曇り時々雨

道の駅ななもり清見(0605) == 乗鞍スカイライン平湯峠入り口(0705, 0750) - 夫婦松(0822, 0827) - 畳平(1050, 1125) -- 乗鞍岳頂上(1230, 1235) -- 畳平(1335, 1345) -- スカイライン入り口(1413, 1439) == ひらゆの森(1455, 1615) == 飛騨清見 IC(1718) == 古城山 P(1912, 1918) == 富加関 IC(1931, 1932) == 美濃加茂 SA(1935, 2011) == 豊田東 IC(2052) == 岩津市民C (2100)

概念図:



日誌:

8/4(土) 予定通り岩津市民Cを出て、美濃 IC の近くのショッピングセンターで宴会と翌日の朝食用の食材を購入。道の駅ななもり清見に予定より30分程早く到着し、建物の横の目立たないところにテントを張って楽しい宴会。ただ翌日の夕なサイクリング登山に備え、まだ飲み足りない Y さんには気の毒だったが早めに宴会を切り上げて就寝。

8/5(日) 5時起床の予定だったが、30分早く起きて朝食をとり、6時過ぎに道の駅出発。1時間ほどで乗鞍スカイライン入り口に到着。自転車を下ろして各自前輪をつけ、タイヤに空気を入れて準備が整ったらはいよいよ出発した。平均勾配7%で見た目はそんなに急ではないが、実際に乗り始めると結構キツク、直ぐにギヤを落とす。ロードバイクのNさんとIさんは、一番低いギヤでも中々キツイようだったが、Nさんは快調に登っていく。その後マウンテンバイクのYさんと私、そしてIさんと続く。滝のようにドットと噴出す汗をぬぐう余裕も無く、ただただひたすら無言でペダルを踏む。畳平までは各々自分に合ったペースで走行するため、休憩をとりながら根気良く登っていくが、とにかく疲れる。途中自転車から降りて押して歩きながら、何とか先頭のNさんから20分以上遅れて、全員畳平に到着した。自転車をデポして昼食をとり、今度は歩いて乗鞍岳山頂を目指す。大勢の観光客の行列で、周りの景色を楽しむどころではなく、黙々と歩くと1時間ほどで山頂に到着。あまりの人の多さと、雷が鳴り始めたため、乗鞍本宮でお参りして記念撮影を終えると直ぐに下山した。再び自転車に乗り、今度は楽しい下り。3時間ほどかけて登った道を一気に降りていくのは気分爽快だ。Yさんの言うとおり「まるでツバメになった気分」でとても気持ちよい。スピードも速く、我々を追い越す車はなく、反対にこちらがバスを追い抜いていく。そして30分ほどでスカイラインの入り口に到着した。登りは中々大変だったが、下りの気持ちよさを考えると、登った甲斐があった。自転車登山も中々楽しいものだ。

感想:

自転車登山は山岳会では今回が初めてだったが、とても良い企画だった。山岳会なので、サイクリングだけではなく、畳平から乗鞍山頂までは徒歩で登ることも出来、大変充実した山行だった。今年はお花の時期が遅いとの事で、コマクサなどまだ沢山の花が咲いており、雪も結構残っていた。

【高速料金】豊田東IC-美濃IC:¥1,250(通勤割引)、美濃IC-飛騨清見IC:¥1,200(通勤割引)、飛騨清見IC-富加関IC:¥1,350、富加関IC-豊田東IC:¥1,200(通勤割引) 【ひらゆの森】¥500: 新しく大きな温泉で、中はとてもきれい。脱衣場も広々としており、お薦め。